

一般社団法人まるごと防災協議会 第4回定時社員総会資料

日時 2025年6月20日（金）15：00～

場所 一般財団法人全国町村議員会館2階第3会議室

【第4回定時社員総会式次第】

1. 代表理事挨拶 15 : 00

2. 議長選出 15 : 05

3. 開会宣言

4. 出席・委任状提出社員数の報告

5. 議事 15 : 15

第1号議案 第4期事業報告について

(1) 活動報告 ①② P-3~4

(2) 決算報告 P-5~7

(3) 監査報告 P-8

第2号議案 第5期事業計画について

(1) 事業計画案①② P-9~10

(2) 収支予算案 P-11

(3) 損益計算書（予想） P-12

(4) 貸借対照表（予想） P-13

第3号議案

役員の選任について P-14

(参考) P-15~19

6. 閉会宣言 16 : 15

7. その他

第1号議案（１）第４期活動報告

①概況説明

当協会のビジョンである「自助の強化と公助との連携」の達成に向け、「まるごと防災」（*1）と「まるごと防災体制」（*2）の浸透を目的に、展示会・セミナー発表、及び他団体との連携を目指し会合へ出席等、对外活動に積極的に参画し、「まるごと防災協議会」の知名度向上に努めた。

- 展示会出展 : 8 か所 ■セミナー及び発表 : 10 回
- 他団体活動参加 : 3 回
- （日本防災士会・マンション防災協会・減災サステナブル技術協会）

産官学民の連携を目指し、第4期より当協議会主催のフォーラムを開催し、「自助の強化」の浸透を図り、協会活動の認知度向上に努めた。

- まるごと防災協議会3周年記念フォーラム（2024年7月24日）
（共催：特定非営利活動法人日本防災士会）
 - ・基調講演
平沼正二郎内閣府大臣政務官（衆議院議員）
目黒公郎東京大学教授・大学院学環学環長
 - ・パネルディスカッション
加田裕之参議院議員（災害対策特別委員会委員）
熊谷大宮城県利府町町長
大澤サユリ日本防災会副理事長
 - ・参加者：52名

関係機関との連携をはかるために、情報収集も含め、昨年度に引き続き、官民連携のプラットフォームに参画した。

- 地方創生SDGs官民連携プラットフォーム（内閣府）
- 防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム（内閣府）
- 「防災への備え」コラボ事業（内閣府）

また、自然災害、パンデミック、地政学のリスクへの対策のため、オールハザード型の防災対策のための、サプライチェーンの強靱化含む提案書を厚労省へ提出した。（4月、8月、1月）

あわせて、正しい「防災用品」の浸透を目指し、当協会の「防災用品推奨制度」設立について、委員会を設立し、第5期からの実施を目指し規程及び審査基準などを策定した。

また、2026年度防災庁設立に合わせ、内閣府との連携及び情報収集のため、内閣府主催の勉強会に、積極的に参画を行った。

次年度も、本年度同様、積極的な活動を続けていく。

なお、本年度は、新規会員の入会は無く、年度末に退会者は1社（大栄産業）であったため、次年度期初スタートは、9社となる。

引き続き、当協議会の活動の補完のため、会員数増強も目指していきたい。

- （*1）まるごと防災 生活者や事業所、施設などの関係者が、普段からの高い災害イメージーションに基づき、被害軽減策と被災後、復旧までの生活を想定した備えを、自発的に実行すること
- （*2）まるごと防災体制 まるごと防災を「公助」と連携させた総合的な防災・減災体制

第1号議案（１）第4期活動報告

②活動実績

2024年度（第4期）活動実績/一般社団法人まると防災協議会						
		実施日	実施項目	内容	場所	備考
2024年度	4月	24日	陳情	提案書提出	厚生労働省	
	5月	15日～17日	自治体総合フェア	展示 セミナー発表	東京ビックサイト	
		22日	第1回理事会	理事会	日本セイフティー	
		23日	RC77研究会	研究会	東京大学	
	6月	6日	第2回理事会	理事会	不二ラテックス	
		20日	第3期社員総会	社員総会	全国町村議員会館	
		25日	マンション防災協会総会	総会出席	日本ハウズイング新宿御苑	発表実施
		29日	日本防災士会総会	総会出席	全国町村議員会館	
	7月	4日～5日	震災対策技術展大阪	展示 セミナー発表	マイドームおおさか	
		6日～7日	いつものもしもキャラバン	展示	イオンモール名取	
		18日	RC77研究会	研究会	東京大学	
		24日	フォーラム	フォーラム	紀尾井フォーラム	
	8月	28日	陳情	提案書提出	厚生労働省	
	9月	20日	第3回理事会	理事会	帝人フロンティア	
		25日	RC77研究会	研究会	東京大学	
	10月	9日～11日	リスコン	展示 セミナー発表	東京ビックサイト	
		19日～20日	ぼうさいこくたい	セミナー発表	熊本県	
		22日～23日	防災グッズEXPO	展示 セミナー発表	交通会館	⇒出展中止
	11月	20日～22日	JAPAN HOME SHOW	展示 セミナー発表	東京ビックサイト	
		22日	RC77研究会	研究会	東京大学	
	12月	4日～5日	中部ライフガードTEC	展示 セミナー発表	ポートメッセ名古屋	
		20日	減災サステナブル技術協会	シンポジウム	千葉大学	発表実施
	1月	15日	内閣府防災	セミナー参加	内閣府	
		16日	陳情	提案書提出	厚生労働省	
		20日	第4回理事会	理事会	日本セイフティー	
		24日	RC77研究会	研究会	東京大学	
	2月	6日～7日	震災対策技術展横浜	展示 セミナー発表	パシフィコ横浜	
		19日	RC77研究会	研究会	東京大学	
		20日	防災×テクノロジー-官民連携PF	セミナー参加	STATION Ai	
		27日	第5回理事会	理事会	日本セイフティー	
		5日	陳情	提案書提出	衆議院議員会館	
	3月	28日	RC77研究会	研究会	東京大学	

第1号議案（2）第4期決算報告（収支）

一般社団法人まると防災協議会						
第4期 会計報告						
自：2024年4月1日						
至：2025年3月31日						
				第3期	第4期	
				実績	計画	実績
						計画差
		収入合計A		2,416,125	3,373,049	3,124,247
		支出合計B		473,088	1,142,000	762,702
		次期繰越金A-B		1,943,037	2,231,049	2,361,545
						130,496

第1号議案（2）第4期決算報告（P/L）

一般社団法人まると防災協議会			
		第4期 損益計算書	
		自：2024年4月 1日	
		至：2025年3月31日	
			(単位：円)
収入の部			
科目	第3期 (2023年4月1日～2024年3月31日)	第4期 (2024年4月1日～2025年3月31日)	計画差
経常収益	705,312	1,271,210	565,898
会費収入	680,000	1,180,000	500,000
事業収入	0	90,000	90,000
雑収入	25,300		-25,300
利息	12	1,210	1,198
経常外収益	0	0	0
収入の部合計	705,312	1,271,210	565,898
支出の部			
科目	第3期 (2023年4月1日～2024年3月31日)	第4期 (2024年4月1日～2025年3月31日)	計画差
HP作成費	0	0	0
事業運営費	231,000	486,310	255,310
HP管理費	66,000	13,500	-52,500
展示会費	165,000	27,830	-137,170
セミナー	0	0	0
シンポジウム	0	218,180	218,180
謝礼	0	55,000	55,000
他団体加入費		100,000	100,000
予備費他	0	71,800	71,800
一般管理費	300,488	276,392	-24,096
広告宣伝費	69,831	32,628	-37,203
事務所費	50,160	50,160	0
通信費	13,500	0	-13,500
会議費	48,377	55,650	7,273
名刺代	11,246	3,683	-7,563
登記簿関連		11,800	11,800
交通費	22,400	50,000	27,600
雑費	13,049	181	-12,868
振込手数料	1,925	2,290	365
租税公課	70,000	70,000	0
支出の部合計	531,488	762,702	231,214
経常損益	173,824	508,508	334,684

第1号議案（２）第４期決算報告（B/S）

一般社団法人まるごと防災協議会			
第4期 貸借対照表			
2025年3月31日			
			(単位：円)
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	2,460,545	【流動負債】	79,000
現金	0	未払金	70,000
預金	2,361,545	預り金	9,000
未収入金	99,000	【固定負債】	0
		長期借入金	0
【固定資産】	0	(負債合計)	79,000
有形固定資産	0		
無形固定資産	0	【正味財産】	2,381,545
投資有価証券	0	基金	0
		保有資産	2,381,545
資産合計	2,460,545	負債・正味財産合計	2,460,545

第1号議案（3）監査報告

2025 年 4 月 1 4 日

監査報告書

一般社団法人まるごと防災協議会

代表理事 岸本隆久殿

監事 寿乃田正人



私は、一般社団法人まるごと防災協議会の第 4 期事業年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。

その結果について、以下の通り報告いたします。

1. 監査の方法の概要

私は、理事会に出席するほか、事業報告書並びに会計帳簿などの調査を行い、計算書類、すなわち貸借対照表、損益計算書、収支報告書の監査を実施しました。

2. 監査の結果

- （1）事業報告書は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- （2）理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- （3）計算書類は、法人の損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

第2号議案（１）第５期事業計画案

①概況

本年度は、次年度（2026年度）の防災庁設立を目指した政府の動きに併せ、防災関連事業の機運が官民双方において高まると予想する。

防災庁設立のための政府の準備及び概要決定時期に併せ、本年度のフォーラムについては、6月初旬の開催とし、政府関係者や有識者に対し、当協議会の活動のアピールの場としたい。

展示会及びセミナーについては、開催内容を十分に考慮し、特に、出展については、開催内容及び展示内容を再確認し、費用対効果を重視する。

セミナーについては、知名度向上を目指し、積極的に参加を目指していく。

- 展示会出展予定 : 5 か所
- セミナー及び発表予定 : 6 回

＊事前の被害軽減対策と被災後の防災拠点の補完において、連携を図っていきたい。

防災庁の設置を機に、国土強靱化基本計画の方針に則し、オールジャパンでの防災の取組へ貢献するため、政府へ、下記３点の対策強化について、提言を行う。

- | | | |
|------|----------|-------------------------|
| 【提言】 | ①室内の安全対策 | ・家具転倒防止対策
・火災対策 |
| | ②備蓄対策 | ・飲料水及び生活用水の対策
・トイレ対策 |
| | ③企業の防災対策 | ・BCM対策 |

- 【期待効果】
- ①自助の強化・共助の補完及び公助の負担の削減
 - ②スフィア基準の達成
 - ③地区防災・企業競争力の向上とサプライチェーンの強化

- 【背景】
- リスク（自然災害・パンデミック・少子高齢人口減社会）
制度未整備（現行の法律の対象外）

さらに、防災用品の統一規格の策定と室内安全対策においては、建築基準法と消防法の枠を超え「防災」を視点とした制度化への働きかけを行う。

併せて、「まるごと防災協議会防災用品推奨制度」を立上げ、エビデンスに基づいた効果のある「防災用品」の普及促進を目指し、自助の強化を促進し、日本の安心安全を目指す。

【行動指針】

当協議会の活動の更なる発展を目指す。

- ①国土強靱化基本計画の方針に則し、まるごと防災の活動が、事業者にとって、サプライチェーンの強靱化の一助となるようBCM事業継続）の強化を目指し、取組を検討していく。
- ②仕組の構築を図り、まるごと防災の参画企業の防災用品の拡販も目指す。
- ③協会力の増強を目指し、新規会員企業の獲得

以上、日本の安心安全と国民の「身の安全」「資産の保全」の寄与を目指し、日本の防災産業⁹の発展に貢献すべく、本年度も、活動をしていく。

第2号議案（１）事業計画案

2025年度（第5期）活動計画案/一般社団法人まると防災協議会						
		実施日	実施項目	内容	場所	備考
2025年度	4月	14日	第1回理事会	理事会	日本セイフティー	
		23日	陳情	要望書提出	衆議院議員会館	
	5月	23日	第2回理事会	理事会	帝人フロンティア	
			審査会	審査会	帝人フロンティア	第1回
		23日	RC77研究会	研究会	東京大学	
	6月	4日	フォーラム	フォーラム	紀尾井フォーラム	第2回
		6日	防災・減災セミナー	セミナー	アクロス福岡	
		20日	社員総会	社員総会	全国村長議員会館	
	7月	16日	第3回理事会15:00～	理事会	不二ラテックス	
			審査会	審査会	不二ラテックス	第2回
		18日	RC77研究会	研究会	東京大学	
	8月	23日～24日	首都防災ウィーク	展示会	横綱公園	
	9月	1日～30日	防災・減災セミナー	セミナー	web	
		6日～7日	ぼうさいこくたい	良品計画	新潟	
		18日	第4回理事会15:00～	理事会	日本セイフティー	
			審査会	審査会		
		26日	RC77研究会	研究会	東京大学	
	10月	1日～3日	危機管理産業展	展示会	東京ビックサイト	
				セミナー		
	11月	18日～21日	ジャパンホームショー	展示会	東京ビックサイト	
				セミナー		
	12月	4日～5日	中部ライフガードTEC	展示会	ポートメッセ名古屋	
				セミナー		
		19日	RC77研究会	研究会	東京大学	
	1月		第5回理事会	理事会		
		23日	RC77研究会	研究会	東京大学	
	2月	5日～6日	震災対策技術展横浜	展示会	パシフィコ横浜	
				セミナー		
		20日	RC77研究会	研究会	東京大学	
	3月		第6回理事会	理事会		
		27日	RC77研究会	研究会	東京大学	

第2号議案（2）収支予算案

一般社団法人まると防災協議会					
第5期 収支予算案					
自：2025年4月 1日					
至：2026年3月31日					
(単位：円)					
				A	3,642,745
				B	1,213,860
				A-B	2,428,885
		第4期	第5期		
		実績	計画	前期差	備考
収入		1,181,210	1,281,200	99,990	
	会費収入	1,180,000	970,000	-210,000	10社⇒8社
	事業収入		310,000	310,000	申請料3万×2点：不動王・ラップボン 登録料5万×5点： ブルシelter・ブルック・もうたんか 不動王・ラップボン
	雑収入			0	
	利息	1,210	1,200	-10	
前年繰り越し		1,943,037	2,361,545	418,508	
収入の部合計 A		3,124,247	3,642,745	518,498	
事業運営費		486,310	863,500	377,190	
	HP管理費	13,500	13,500	0	更新料
	展示会	27,830	0	-27,830	
	セミナー	0	200,000	200,000	防災減災セミナー（福岡・web）
	シンポジウム	273,180	300,000	26,820	会場費（謝金含む）
	他団体加入	100,000	250,000	150,000	日本防災士会5・ジャパンプラットフォーム5 新）MALCA10 日本防災士会 5 ダブリ
	登録料	22,000	50,000	28,000	商標登録
	予備費	49,800	50,000	200	寄付金他
事務所費		50,160	50,160	0	
管理費計		156,232	230,200	73,968	
管理費	通信費	0	5,000	5,000	転送料
	広告費	32,628	50,000	17,372	パンフ・媒体
	会議費	55,650	70,000	14,350	他団体関連会合含む
	名刺代	3,683	5,000	1,317	
	交通費	50,000	80,000	30,000	他団体イベント関連含む
	雑費	0	5,000	5,000	プリント・コピー代他
	登記簿関連	11,800	12,000		2年毎再登記（2025年分）
	振込手数料	2,290	3,000	710	
	国税	181	200		
	税金	70,000	70,000	0	大阪府市（前期分）
支出の部合計 B		762,702	1,213,860	451,158	
収支差額（A-B）		2,361,545	2,428,885	67,340	

第2号議案（3）損益計算書（計画）

一般社団法人まると防災協議会			
	第5期 損益計算書案		
	自：2025年4月 1日		
	至：2026年3月31日		
			(単位：円)
収入の部			
科目	第4期 (2024年4月1日～2025年3月31日)	第5期 (2025年4月1日～2026年3月31日)	計画差
経常収益	1,181,210	1,281,200	99,990
会費収入	1,180,000	970,000	-210,000
事業収入	0	310,000	310,000
雑収入	0		0
利息	1,210	1,200	-10
経常外収益	0	0	0
収入の部合計	1,181,210	1,281,200	99,990
支出の部			
科目	第4期 (2024年4月1日～2025年3月31日)	第5期 (2025年4月1日～2026年3月31日)	計画差
HP作成費	0	0	0
事業運営費	486,310	863,500	377,190
HP管理費	13,500	13,500	0
展示会費	27,830	0	-27,830
セミナー	0	200,000	200,000
シンポジウム	273,180	300,000	26,820
他団体加入費	100,000	250,000	150,000
登録料	22,000	50,000	28,000
予備費他	49,800	50,000	200
			0
一般管理費	276,392	350,360	73,968
広告宣伝費	32,628	50,000	17,372
事務所費	50,160	50,160	0
通信費	0	5,000	5,000
会議費	55,650	70,000	14,350
名刺代	3,683	5,000	1,317
登記簿関連	11,800	12,000	200
交通費	50,000	80,000	30,000
雑費	0	5,000	5,000
振込手数料	2,290	3,000	710
国税	181	200	19
租税公課	70,000	70,000	0
支出の部合計	762,702	1,213,860	451,158
経常損益	418,508	67,340	-351,168

第2号議案（４）貸借対照表（計画）

一般社団法人まると防災協議会			
第5期 貸借対照表（予想）			
2026年3月31日			
			(単位：円)
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	2,428,885	【流動負債】	101,000
現金	0	未払金	70,000
預金	2,428,885	預り金	31,000
未収入金	0	【固定負債】	0
		長期借入金	0
【固定資産】	0	(負債合計)	101,000
有形固定資産	0		
無形固定資産	0	【正味財産】	2,327,885
投資有価証券	0	基金	0
		保有資産	2,327,885
資産合計	2,428,885	負債・正味財産合計	2,428,885

第3号議案 役員の選任について

役員の選任について

【選任候補者】

理事 岸本 隆久	帝人フロンティア株式会社新事業開発部主管 一般社団法人防災事業経済協議会理事 防災士・ひょうご防災リーダー
理事 東條 孝明	株式会社防災ログ代表取締役 防災士
理事 畠山 広明	不二ラテックス株式会社制振機器課課長 防災士
理事 餅月 忍	日本セイフティー株式会社ラップポン事業部営業部長
理事 長崎 寛人	前澤化成工業株式会社特販営業部担当課長 防災士
監事 寿乃田 正人	NPO法人東京いのちのポータルサイト副理事長 一般社団法人マンション防災協会理事 防災士

顧問 荒井 広幸	筑波大学客員教授・元内閣官房参与
顧問 目黒 公郎	東京大学教授・大学院情報学環学環長

一般社団法人まるごと防災協議会防災用品推奨制度規定

1. まるごと防災協議会防災用品の推奨

レジリエントな社会を目指し、「まるごと防災体制」の理念（自助の強化と共助の補完をすることにより、公助との連携を目指す総合的な災害マネジメント体制を実現する）に合致し、その有効性が認められる防災用品については、まるごと防災協議会防災用品として推奨する。

2. 目的

防災活動をサステナブルなソーシャルビジネスへ進化させるために、本会とともに、推奨防災用品の普及を通して、日本の防災力向上に貢献する。

3. 条件

日本国内における法人でかつ下記の 1) ～ 3) の条件を満たすこと

1) 当協会の推奨する下記の条件のいずれかに合致すること

- ①災害時に利用することで、被災後の生活の安全性と快適性の向上に貢献できる防災用品・サービスであること
- ②事前に準備することにより、自助の強化に貢献する防災用品・サービスであること
- ③平時に身近で利用しているものが、そのまま非常時に防災用品として活用できること

2) 日本国内外の、製造・管理・衛生などに関する諸規則に適合していること

3) 安全性及び有効性が認められるエビデンスを提示すること

4. 申請

事業者等が申請し、審査会による審査をする。

5. 申請の流れ

申請の流れは、次の通りとする。

- 1) 推奨希望者は、実施要領（規約）を確認の上、「まるごと防災協議会推奨防災用品申請書」に必要事項を記入・捺印し提出する。事務局の確認が取れた後に、指定金融機関に払い込む。
- 2) 本会事務局は、申請内容を確認した後、推奨申請資料を審査会に諮る。
- 3) 審査会は申請内容を審査する。

6. 評価基準

①品質の安全性②耐久性③有効性④革新性⑤利便性の 5 項目について、評価する。

7. 審査委員

審査委員は、理事の中から 3 名を互選し、互選された審査委員が審査委員長を有識者の中から指名する。

8. 審査会

7の審査委員で構成する。

年2回開催する。

9. 合否判定

当協会の定める5つの評価基準に従って、審査会で審査する。

*1項目あたり、満点を10ポイントとする。

*10ポイント×5項目=50ポイント/1審査委員とする。

*審査委員全員の平均点が50ポイント中40ポイント以上を合格とする。

10. 認証取得後

1) 当協会ホームページに掲載

2) 当協会の主催する展示会へ出品

3) 当協会会員企業とのコラボレーション

11. 費用 (消費税別)

1) 申請料 : 30,000 円/ブランド

2) 登録料 : 上代 (500,000 円未満) (500,000 円以上)

会員企業の場合 50,000 円/ブランド 100,000 円/ブランド

非会員企業の場合 100,000 円/ブランド 200,000 円/ブランド

3) 登録更新料 (2 年毎)

会員企業の場合 20,000 円/ブランド 40,000 円/ブランド

非会員企業の場合 50,000 円/ブランド 100,000 円/ブランド

* 合否に関わらず、申請料は返還できないものとする

策定) 2024 年 5 月 20 日 理事会決定 (目黒顧問確認)

改定) 2025 年 2 月 27 日 理事会決定

確認) 2025 年 3 月 28 日 目黒顧問

改定) 2025 年 5 月 23 日 目黒顧問

(参考) まるごと防災協議会防災用品申請書

【まるごと防災協議会推奨防災用品申請書】

申込日時		2024年 月 日
防災用品の名称		
法人名		
所在地		(〒 -)
担当者	所属・役職・氏名	
	TEL NO	
	FAX NO	
	E-Mail	

【防災用品の概要】 申請する防災用品について、該当する番号に○印を記入して下さい。

防災用品の分類	1 被害軽減 2 飲食 3 衛生 4 電源 5 情報・通信 6 その他
防災用品の用途 (複数○可能)	1 地震 2 火災 3 風水害 4 備蓄 5 停電 6 避難 6 避難所 7 感染対策 8 救急用品 9 帰宅困難者対策 10 その他 ()
1.防災用品の機能・特長 (型式:) (URL:)	
2.防災用品の規格・サイズ(例) (横、高さ、奥行き mm)、重量 kg など	
例) <サイズ> W: () mm H: () mm D: () mm <重量> () kg	
3.参考上代: (円税別)	

*エビデンス添付のこと

振込先: 住信 SBI ネット銀行株式会社 支店番号 106 口座番号 1788001 一般社団法人まるごと防災協議会

<送付先> まるごと防災協議会 推奨品審査委員会: 畠山広明

Mail: info@marugoto-bosai.com (PDFで送付願います。)

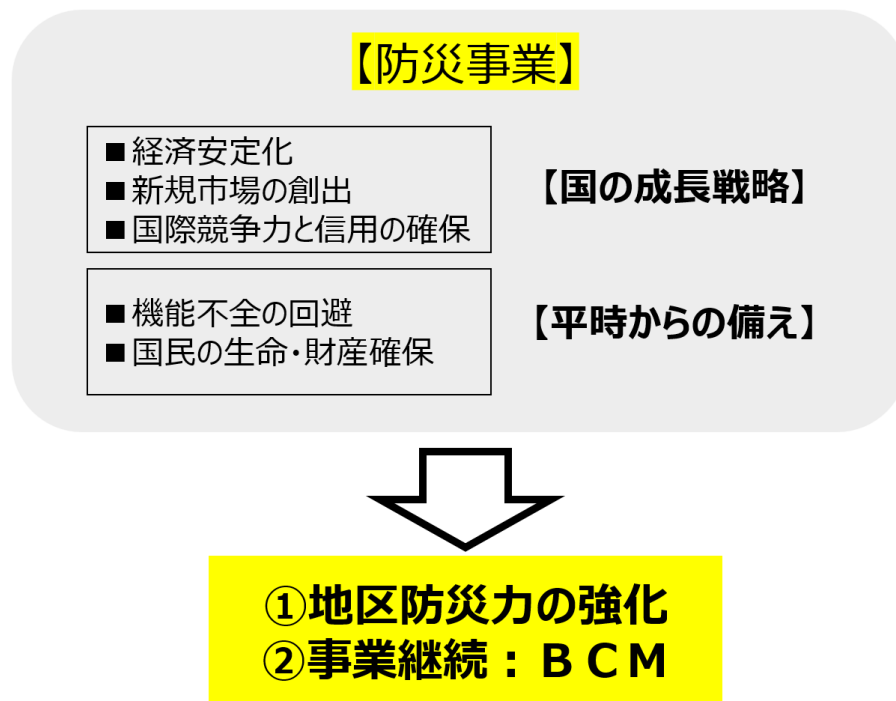
【条件（環境）】

1) ライフスタイル ■ 働き方 ■ 消費活動	・テレワーク定着 ・地方移住 ・ネットシフト・ヘルスケア関連需要 ・本物志向・低価格志向
2) 社会情勢 ■ 環境 ■ 思想	・人口減・高齢社会 ・グローバリゼーションの後退 ・カーボンニュートラル・循環経済 ・地政学 ・経済（産業）安全保障
3) 企業活動 ■ 競争環境 ■ 雇用 ■ 技術 ■ 生産体制	・業界再編・淘汰 ・定年延長・人員数見直し ・デジタライゼーションの加速 ・サプライチェーン強化 ・サーキュラーエコノミー ・ゼロエミッション

【課題】

● 社会情勢	○リスク（自然災害・パンデミック・地政学） ○少子高齢・人口減 ○CSV ○安全配慮義務
● 国土強靱化	○防災庁設立（2026年度） ○防災関連予算増 ○防災用品に基準なし ○産官学連携プラットフォーム
● ニューノーマル	○働き方改革 ○グローバル経済の後退 ○業界再編・淘汰 ○DX
● サステナブル	○SDGs ○循環経済 ○カーボンニュートラル ○経済安全保障

【トレンド】



【行動指針（イメージ）】

